※令和３年度以前入学生用

１　国語

学校番号	T2101

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現ｂ	単位数	1	年次	１～４
使用教科書	国語表現　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文章を書く力や、まとめる力を身につけます。
・原稿用紙の使い方や要約の方法を学びます。
・書くことを中心に行うので、筆記具と教科書は必ず持参し、積極的に授業へ参加しましょう。

２　学習の到達目標

・話題や題材に応じて情報を収集し、分析できる。
・情報を基に、自分の考えをまとめたり深めたりできる。
・相手の異なった主張を尊重できる。
・主張や感動が相手に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書くことができる。
・目的や場に応じて、言葉遣いや文体等を工夫して効果的に書くことができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	自分の考えを適切な形にまとめている。情報を分析したり、課題と向き合う態度を形成している。	相手の発言に対して、根拠や筋道の妥当性を判断できる。根拠や展開を明確にして意見を主張できる。	伝達すべき内容が伝わるように、的確で簡潔な文章を書くことができる。		文や文章、語句、語彙及び表現技法を学び、文章を書く際に役立てることができる。
評価方法	記述の点検（ワークシート等） 行動の観察（発表等）	行動の観察（ペアワーク等）	記述の確認（ワークシート、原稿用紙） 定期考査		記述の確認（ワークシート） 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価基準	評価基準
			a	b	c	d	e		
前期	絵を言葉にする	【基礎編】 絵や道のり等を言葉で説明させ、具体的な表現について学ぶ。 教材： 「言葉に変える」 ワークシート	○		◎		○	ａ：積極的に取り組み、わかりやすくまとめようとしている。 ｃ：わかりやすい言葉で表現できている。 ｅ：説明の流れや効果的な比喩を理解している。	ａ、ｃ：記述の確認 ｅ：記述の確認及び定期考査
	文字を声に変える	【基礎編】 係り受けやピッチを意識し、正確に文章を読む。 教材： 「声の表現」 ワークシート	○				○	ａ：正しい態度で音読できている。 ｄ：聞きやすさを意識しながら、正確に読めている。 ｅ：わかりやすい読点の打ち方について理解している。	ａ、ｄ：行動の観察と確認 ｅ：記述の確認
	語義を探る・語彙を広げる	【基礎編】 単語の意味を調べる。 教材： 「漢字と語彙」 ワークシート 辞書	○		◎		○	ａ：辞書などを用いて、意欲的に調べ学習を行っている。 ｃ：類義語などを適切に書き分けて表現できている。 ｅ：指定した語句の語義を理解したり、語彙を広げている。	ａ：行動の観察と確認 ｃ：記述の確認 ｅ：記述の確認及び定期考査
	連絡文の書き方	【基礎編】 記書きについて学び、実際に書く。 教材： 「文章表現の基礎」 ワークシート	○		◎		○	ａ：連絡文であることを意識して、丁寧に書いている。 ｃ：誤字脱字や、連絡内容の誤りなく、連絡文を書くことができている。 ｅ：記書きの書式を理解している。	ａ、ｃ、ｅ：記述の確認

※令和３年度以前入学生用

	意見を論理的に述べる	【実践編】 意見と根拠について学ぶ。 教材： 「小論文Ⅰ」 ワークシート	○	◎			○	ａ：自分の意見・主張をしっかりと表明できている。 ｂ：意見や主張の根拠を明確に述べることができている。 ｅ：テーマ型、課題文型、データ型といった小論文の種類について理解している。	ａ、ｄ：行動の観察及び記述の確認 ｅ：記述の確認及び定期考査
前期	構成ノート	【実践編】 文章を書くためのメモについて学ぶ。 教材： 「小論文Ⅰ」 ワークシート	○		◎		○	ａ：意欲的にメモ作成に取り組んでいる。 ｃ：序論・本論・結論を意識して構成を書けている。 ｅ：各センテンスをつなぐ接続表現を理解している。	ａ：行動の観察と確認及び記述の確認 ｃ：記述の確認 ｅ：記述の確認及び定期考査
	要約の方法	【実践編】 文章を読み、簡潔にまとめる。 教材： 「小論文Ⅱ」 ワークシート	○	◎			○	ａ：他者の意見を尊重しながら適切に要約ができる。 ｂ：文章を的確に読み取り、簡潔にまとめることができる。 ｅ：要約文を書く際の留意点を理解している。	ａ：記述の確認 ｄ、ｅ：記述の確認及び定期考査
	課題文から問いを見つける	【実践編】 課題文を読み、論点を見つける。 教材： 「小論文Ⅱ」 ワークシート	○				○	ａ：課題文の読解が重要な作業であることを理解し、あせらず的確に読み取ることができる。 ｄ：文章を読み、その要旨を理解し、重要な部分の判断ができる。 ｅ：論点とは何かを理解し、論点にしたがって適当に述べることができる。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｄ、ｅ：記述の確認

※令和３年度以前入学生用

	データを読む	【実践編】 グラフや表から特徴を読み取る方法を学ぶ。 教材： 「小論文Ⅱ」 ワークシート	○				○	ａ：統計資料・図表について、関心を持って読み取ろうとしている。 ｄ：グラフやデータから、特徴を読み取り表現できる。 ｅ：何を目的に作成された資料なのか、図表・タイトルなどから理解できる。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｄ、ｅ：記述の確認及び定期考査
	論文作成	【実践編】 小論文の作成について学び、文章を書く。 教材： 「論文作成法」 ワークシート 原稿用紙	○		◎		○	ａ：テーマを自ら設定し、文章作成にあたっている。 ｃ：論文のルールに従って文章が書けている。 ｅ：論文とはどのようなものかを理解している。	ａ：行動の観察及び記述の確認 ｃ、ｅ：記述の確認
	プレゼンテーションの方法	【実践編】 テーマについて発表し、相互評価を行う。 教材： 「プレゼンテーションの方法」 ワークシート	○	◎			○	ａ：相互評価を積極的に行っている。 ｂ：適切に音声表現ができている。 ｅ：プレゼンテーションの構成や情報収集の必要性を理解している。	ａ、ｂ：行動の観察と確認 ｅ：行動の観察及び記述の確認
後期は実施しない									

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。